

2. 瀬戸内海における航行船舶への津波の影響に関する調査研究委員会 (第2回)

- 1 開催日 令和4年3月15日(火)
- 2 場所 広島グランドインテリジェントホテル

3 目的

近い将来発生が予想される南海トラフを震源とする巨大地震に伴う津波が瀬戸内海に来襲した場合、通常の潮汐により生じる潮流と相まって、これまで経験した最大潮流を超える流速となることが考えられるが、このような状況下において、津波の第一波が備讃瀬戸東航路内を東航する船舶(『水島航路→備讃瀬戸南航路→備讃瀬戸東航路』、『備讃瀬戸南航路→備讃瀬戸東航路』、『坂出港→備讃瀬戸東航路』等)の操船に与える影響を可能な範囲で定量的に把握評価の上、同航路内を航行できるか取りまとめ、関係各機関等における安全対策の策定に資することにより、海上交通の安全に寄与することを目的とする。

4 議題

- (1) 第一回委員会議事概要(案)について
- (2) 作業部会長報告について
- (3) 第一回委員会の指摘と対応について
- (4) 自然環境・航行環境について
- (5) ビジュアル操船シミュレーション実施結果について
- (6) 津波が及ぼす操船影響の評価について
- (7) 津波対策への提言について
- (8) その他

5 出席者(敬称略、順不同)

委員長	海技大学校名誉教授	岩瀬 潔
委員	海上保安大学校教授	山田 多津人
	内海水先区水先人会副会長	杉本 満
	一般社団法人日本船長協会常務理事	中田 治
関係行政機関	第六管区海上保安本部交通部	
事務局	公益社団法人瀬戸内海海上安全協会	